

今月の 新刊紹介



CKD 保存期ケアガイド

監修：日本腎不全看護学会
編集：CKD 委員会保存期グループ
発行：医学書院
定価：3300 円（本体 3000 円＋税）
B5 判 160 ページ

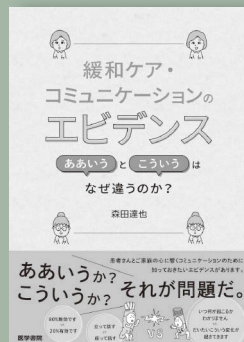
慢性腎臓病（CKD）において透析導入をできるだけ遅らせることが重要視され、保存期ケアへの関心が高まっている。CKD 患者の病状進展を予防する看護、効果的なケアを明確にすることを目的に、エビデンスを示しながら解説していく。



壊れた脳と生きる 高次脳機能障害「名もなき苦しみ」の理解と支援

著：鈴木大介、鈴木匡子
発行：筑摩書房
定価：1012 円（本体 920 円＋税）
新書判 288 ページ

高次脳機能障害は、障害の特性も当事者が何に不自由を感じているのかも見えづらい。どうしたら、当事者の苦しみを受け止め、共に進むことができるのか。当事者である著者が支援者である医師とともにことごとん考え抜いた。当事者と接点を持つ全ての人の必読書。



緩和ケア・コミュニケーションのエビデンス

ああいうとこういうはなぜ違うのか？
著：森田達也
発行：医学書院
定価：2200 円（本体 2000 円＋税）
A5 判 160 ページ

「20%有効です」「80%無効です」は同じ意味だが、聞いた患者の判断に影響を与えることもある。そこで本書では、緩和ケアの臨床家が出合うさまざまな場面で、どちらの言い方がどのような影響をもたらすのかを解説。研究結果に臨床での困りごとを解決するヒントがある。



ミューチュアル・アクションリサーチ

M. ニューマン “拡張する意識としての健康” の理論にもとづく質的・実践的・協働的看護研究法
著：三次真理、遠藤恵美子
発行：すぴか書房
定価：2750 円（本体 2500 円＋税）
A5 判 200 ページ

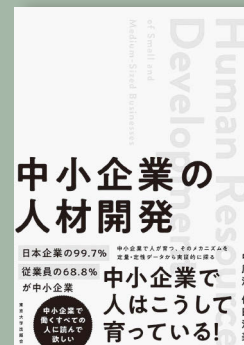
ロジャーズやニューマンの看護理論に基づく実践的な質的研究方法であるミューチュアル・アクションリサーチ（MRA）。そこに著者らの独自の方法を加え、MRA の研究プロセスを解説。MRA 初めての入門書にして決定版。



日本近現代医学人名事典別冊 【1868-2019】増補

編：泉孝英
発行：医学書院
定価：3960 円（本体 3600 円＋税）
A5 判 256 ページ

わが国の近現代医学・医療のために奮闘した先人の業績を補完する 1 冊。平成の終焉までに逝去した 933 名の事績を収載。事典と合わせ総勢 4695 名に上る人名総索引のほか、参考文献・年表・書名索引などを付録とした。



中小企業の人材開発

著：中原淳、保田江美
発行：東京大学出版会
定価：3740 円（本体 3400 円＋税）
A5 判 208 ページ

企業数のうち 9 割、雇用者数のうち 7 割を占める中小企業の人材開発について、そのメカニズムに迫った先行研究は少ない。そこで著者らは実証研究を行い、「中小企業で人はいかに育つのか」を明らかにしていく。日々の人材育成にも参考になる 1 冊。

看護管理に
効く
1 冊